

貧困研究会

第30回定例研究会 のおしらせ

駆け込み地域-ホームレスネス、地域ケアとジェントリフィケーション

「貧困研究会」（日本学術会議協力学術研究団体）は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行い、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行うことを目的にして、2007年12月に設立した学会です。

代表 布川 日佐史（法政大学）

副代表 五石 敬路（大阪市立大学）

第30回定例研究会では、Florida International University (FIU) のDr. Matthew D. Marrさんをお呼びして、最新の研究成果についてお話しいただきます。（Marrさんのプロフィールはこちら <https://gss.fiu.edu/people/faculty/matthew-marr/>）

Marrさんは、20年以上にわたり、グローバルゼーション、ジェントリフィケーションなどの視角から、ホームレスネスが集中するいわゆる「寄せ場」をフィールドとして、日米の国際比較研究をしています。

近年、こうした地域はジェントリフィケーションが進行する一方で、ホームレス状態にある人々にとっての「駆け込み地域」（Service-Hub）としての役割も担っています。この相対する二つの現象を踏まえ、こうした地域の在り方についてMarrさんの研究を通して学ぶ機会としたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています

日 時 2018年7月28日（土）

13:15~16:00（受付開始13:00~）

報告者 Dr. Matthew D. Marrさん

（Florida International University）

（講演は日本語で行います）

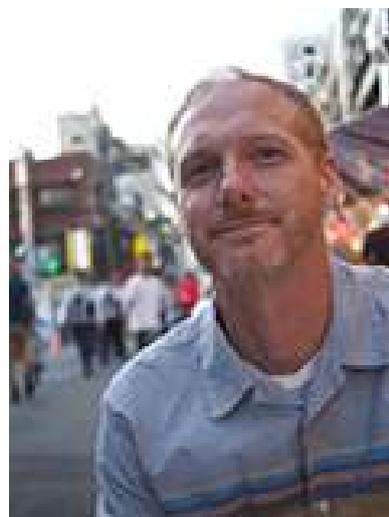
会場 日本大学経済学部

7号館4階 7041教室

（JR水道橋駅から徒歩約2分）

※非会員の方も参加できます。

参加費無料・事前の参加連絡は不要



貧困研究会

E-mail: admin@hinkonken.org HP: <http://hinkonken.org/>